日本共産党狛江市議団ニュース

2014年3月21日　臨時号
発行：日本共産党狛江市議団
連絡先：市議会控室3430－1177
日本共産党狛江市議団の活動を紹介します。

4千名超える署名の陳情を市議会が全会一致で採択

中央図書館・公民館の充実へ
市民センター改築等検討委の設置を

－日本共産党が予算組み替え提案－

来年度予算を審議する市議会予算特別委員会（3月 11 日、 市役所内）

日本共産党の予算組み替え提案

①中央図書館・中央公民館の充実へ

市民センターの改築等も検討する委員会を設置

改修のみの設計予算は削除

②消費税8%への対応ー市民生活支援策を拡充

非婚のひとり親家庭の保育料を軽減

介護保険利用料を4割軽減（低所得者向け）

生活保護世帯のエアコン設置を全額助成

③地震災害対策ー被害を最小限にとどめるために

防災行政無線が聞こえる防災ラジオ購入費助成

家具転倒防止器具の購入費・取り付け助成

④産業振興へ住宅リフォーム助成制度を実施

⑤保育園の民間委託関係費を削除

⑥五小の小学校給食調理委託の検証委員会設置

⑦都の水道管耐震化路線と重なる道路予算を削除

中央図書館ーもっと広く、もっと蔵書を！

	狛江市	多摩平均	26 市順位
①座席数（人口千人あたり）	1.08 席	2.46 席	25 位
②蔵書数（人口一人あたり）	2.24 冊	4.24 冊	26 位
③貸出冊数（人口一人あたり）	6.56 冊	8.91 冊	21 位
④資料費（人口一人あたり）	295.1 円	332.3 円	23 位

＊出典：㈶東京市町村自治調査会「図書館のあり方に関する調査研究報告書」（2011.3）

消費税8%
市民税・国保税・下水道料金の減免拡大を
日本共産党
市民の命を守る生活支援策を提案
市議会予算委

3月11日～13日まで予算特別委員会が開かれ、高橋市長提案の来年度一般会計予算は自民、公明、民主、生活の賛成多数で可決されました。

日本共産党は、市民の切実な願いを実現するため予算組み替え動議を提出しましたが、自民、公明、民主、生活の反対多数で否決されたため原案に反対しました。

一般会計予算は、認可保育所の増設や給食センターの整備など市民要望に応えるものも含まれていますが、消費税増税の中、市民生活を支援する施策の真剣な検討が行われていません。また中央図書館・公民館の充実のために、「市民センターは改修にとどめることなく増床も視野に入れた改築の検討を」という4千名の陳情が市議会で全会一致で採択されたにもかかわらず改修のみの設計予算となっています。保育の質の低下が心配な宮前保育園の民間委託の予算ももりこまれています。

日本共産党市議団は、図書館・公民館充実のために市民センターの改築等も含め検討する委員会の設置をはじめ、非婚のひとり親家庭の保育料の軽減、低所得者の介護保険利用料の4割軽減など市民生活支援策をもりこんだ予算の組み替え提案を行いました（左表参照）。また質疑の中で生活保護基準ぎりぎりで生活している方々の生活支援のために、市民税や国保税、下水道料金の減免制度の拡充、就学援助の拡充を求めました。

各種減免制度の拡充について高橋市長は「考えておりません」、就学援助の拡充について教育長は、「近隣市の動向を注視していく」と答弁しました。日本共産党市議団はひきつづき、これら切実な市民の願いが実現するよう全力で頑張ります（2面につづく）。

みなさんと力をあわせてがんばります。

鈴木えつお議員
3488-8839

田中とも子議員
042-427-1183

西村あつ子議員
3480-2780

宮坂良子議員
3480-1895

岡村しん議員
6751-2757